



ざまっと通信

座間市民活動サポートセンター情報誌

NO. 37 2017年12月15日発行
発行：座間市民活動サポートセンター
(運営：ざま市民活動応援広場)
住所：座間市緑ヶ丘 1-1-1(ざまコミュニティプラザ)
TEL：046-255-0201
FAX：046-255-3243
E-mail：ss-zama@feel.ocn.ne.jp
URL：http://zamat.genki365.net/

第2回 団体ミニ交流会

2018年2月4日(日)10:00~12:00 開催！ 参加団体受付中

毎年、大盛況の団体交流会は、前回からテーマを限定して開催することになりました。第2回目となる今回は、国際交流をテーマに開催します。座間に住んでいる外国にルーツをもつ方々が、もっと暮らしやすくなるように、また、もっと座間を好きになってもらうために活動をしている団体が対象です。同じテーマで活動するもの同士で情報交換を行い、団体同士のコラボレーションのきっかけにも！ うれしい情報やヒントをGET！ 団体運営のヒントや次の事業のアイデアを見つけませんか？ 新しいつながりをつくるためのワークショップや交流ティータイムを開催予定です。どうぞお気軽にご参加ください。

※詳細は、情報サイト「ざまっと」やチラシ等でお知らせします。



オンラインはすぐそこ！

テーマ：国際交流

出会おう

支援対象は同じでも、様々な支援の仕方があります。日頃、接することのない幅広い活動分野の団体に出会えます。

語ろう

活動する上での悩みや、これからの夢など、同じテーマで活動しているからこそ、じっくりと語り合えます。

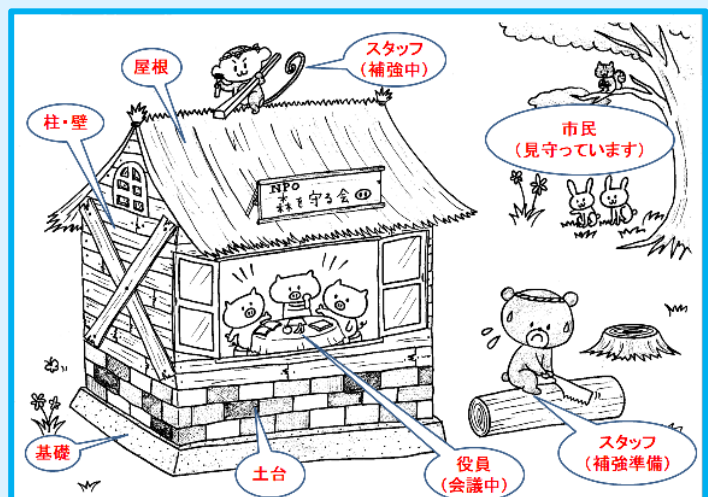
つながろう

これをきっかけに、お互いの強みを活かして協力し合えば、今までできなかったことも実現に近づけます。

報告

登録団体基盤強化支援事業の説明会を開催しました！

サポートセンターの運営団体であるざま市民活動応援広場は、座間市との協働のまちづくりを推進するため、ざまっと基金を設置し、サポートセンター登録団体の基盤づくりに対する支援事業を実施します。この事業の説明会を11月26日(日)に開催し、10団体が参加しました。団体が安定した運営をしていくことで、その活動が持続し、継続的に社会へ貢献していくことができます。そのために、ざまっと基金をぜひご活用ください。



図：市民活動団体を住宅に例えると基盤とは？

基本がわかるとカンタン！ チラシの作り方講座を開催



講師：照山 倫広氏（ざま市民活動応援広場 理事）

9月24日（日）9：30～12：30 参加者：22人

チラシを通じて各団体の特徴を改めて見直してもらい、団体のPRを支援する目的で開催しました。講座では、作る前の確認事項や作る際の注意点、自分の団体・イベントの特徴・ウリを見つけるヒントを学び、その後のワークショップでは、学んだヒントを活かして、それぞれ持参したチラシの良い点や、改善点を出し合い、和気あいあいとグループで話し合い発表しました。皆さんのチラシ作りに対する意欲が高いことがわかりました。

参加者からの感想：「チラシの基本について、とても勉強になった。」「他団体の方とチラシ作りの交流が出来て良かった。」「他の方の意見が聞けて参考になった。」「次回のチラシ作りに役立てたい。」

※サポートセンターでは毎週金曜日、市民活動団体向けのチラシ作り個別相談会（要予約）も開催しています。ぜひご利用ください。



ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング！

11月1日（水）、県内のボランティア活動支援施設の施設長や市町村ボランティア活動支援所管課長などを対象に25名の参加者が集まりました。年1回、かながわ県民活動サポートセンターで研修と意見交換を行うミーティングです。

当日は日本NPOセンター特任理事 田尻佳史さんより『NPOを取り巻く環境の変化とNPO支援のこれから』をテーマとした講演と、「これからの支援をどうする？」という大きな問題提起の下、各自が持ち寄った関心事に沿って、グループに分かれて意見交換を行いました。

中間支援組織として、これからの役割を考える一日となりました。

県主催「NPO 出張予約相談会」が 今年もまた座間で開催されました！

10月27日（金）、かながわ県民活動サポートセンター（ボランティア活動相談窓口）の相談員3名によるNPO出張相談会が座間市民活動サポートセンターにおいて開催されました。相談したのは3団体で、団体の運営事務や資金集め、今後の方向性などに関するものでした。相談員は、始めに団体の現状を聞き取り、団体が抱えている本当の問題点を明らかにして、解決のための的確な助言をされていました。

座間市民活動サポートセンターの職員もスキルアップのため同席させていただき、相談員の「聞く姿勢」の大切さを学ぶことが出来ました。



報告

サポートセンターのテントで 登録団体も一緒に活動をPR！

11月19日(日)第32回座間市民ふるさとまつりが開催されました！前日の雨の影響が心配でしたが、当日は晴天に恵まれ座間中学校会場ではグラウンドコンディションも上々。たくさんの方にサポートセンターのテントに来ていただきました。



今年もサポートセンターオリジナル「ざまりんストラップ」と「ざまりんアイロンプリントシート」を販売。さらに「ざまりんトートバッグ」が新発売となりました。6種類のデザインから選べ、使いやすいサイズのトートバッグは大変好評でした。テント奥ではクイズに答えて押せる、かわいいざまりんの「ふるさとまつりオリジナルスタンプ」が大人気！展示しているサポートセンターのPRパネルからクイズの答えを探することでサポートセンターを知っていただき、市民活動につながるお話もできました。他では押すことのできないざまりんの大きなスタンプは小さなお子様をはじめ、シニアの方にも喜んでいただきました。

また、登録団体のコーナーも設け、今年は「座間子育て応援プロジェクト！」(協力：アクティブ・ママ)が活動をPRしました。こちらでは、どんぐりやまつぼっくりで、リースやクリスマスブーツの飾りを作ることができ、たくさんのお子様たちが素敵な作品を楽しそうに仕上げていました。

店頭では、「ざまりんスマイルボード」で写真をとる姿が多く見られ、ざまりんが登場した時には、より一層賑やかになりました。お立ち寄りくださったみなさま、ありがとうございました。



新発売のざまりんトートバッグは大好評



座間子育て応援プロジェクト！
(協力：アクティブ・ママ)が作品作りを通して団体の子育て支援の活動をPR



サポートセンター スタッフ 募集中

サポートセンターでは、市民活動に関する情報収集や、広報物の制作、イベント運営、事務作業等をしていただける方を募集しています。しっかりフルタイムで働きたいという方も、育児や介護の合間にできることをしたいという方も、ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

＼経験やスキルを活かして、一緒に市民活動を盛り上げましょう！！／

事務局からのお知らせ

2018年度予定

団体登録更新手続きのお知らせ

サポートセンターでは、登録団体の最新の活動状況を把握するため、毎年春に、登録更新の手続きをお願いしています。

- 書類を事務局宛に発送または配布します。
- ご記入後、来所にて直接提出してください。郵送、FAX、メールでは受付できません。
- 情報サイト「ざまっと」をご利用いただいている団体は、「ざまっと」の団体情報の更新も必須となります。
- 団体の事情で登録を取り下げの場合はご一報ください。(後日、再登録は可能です。)
- サポートセンター発行のサークル団体情報誌「ざまっとガイド」はその情報を基に作成する予定です。

登録を検討している団体も 今がチャンスです！

サポートセンターでは、社会貢献活動をしている団体に対して、様々な支援をしています。

- 登録申請用紙は、2月下旬からサポートセンターの他、一部公共施設や情報サイト「ざまっと」から入手できます。
- 新規登録は随時受け付けています。
- 登録を検討中の団体も、お気軽にサポートセンターまでご相談ください。
- 毎年春の登録更新手続きと同時期に新規登録を行うと、サークル団体情報誌「ざまっとガイド」に詳しく掲載されます。

サポートセンター登録数・利用者数

2017年10月31日現在

登録団体数	:	201	団体
ざまっと登録団体	:	129	団体
利用者数累計	:	3,107	人
(2017年4月から)			

◀連載：団体運営ちょっと見直しませんか？③▶

会員はだ～れ？

市民活動をしていると、思いがけずたくさんの方との関りができるのではないのでしょうか。では、その中で、あなたの団体の会員とは誰でしょうか。例えば、スポーツを子どもたちに教える団体の場合、コーチは？子どもたちは？その親は？OBは？事務スタッフは？寄付をくださる地元商店は？

会員（NPO 法人の場合「社員」）は、団体の活動主旨に賛同し、総会で団体の運営について議決するという重要な役割があります。そうでない方は、「賛助会員」・「利用会員」・「ファミリー会員」などとして区別します。また、給料を払っているスタッフがいたとしても、必ずしも会員である必要はありません。

どのような会員制度にするか、会費の額をどのようにするかなどは、規約等で自由に定めることができますが、重要なのは、それぞれの位置づけを明確にし、組織の意思決定をスムーズにすることです。

例えば、規約等に記載している会員の種別とチラシやホームページ等での記載が異なると、せっかく新しいメンバーがきても、どこまで関わればいいのか誤解が生じ、トラブルになりかねません。

応援ひろばから

「君子は豹変す」という言葉があります。最近悪い意味に使われる場合もあるようですが、元来は「立派な人物は自分が誤っていると分かれば心を入れ変える」という意味です。少子高齢化による社会の変化や科学技術の進歩により、今までは良かったことが今後も正しいとは限らず、またその変化もどんどん速くなっているように感じます。またそれぞれの立場の主張を言い募るだけでは解決にたどり着けないことも多いでしょう。市民活動においても、時代の変化への対応や他の団体・組織との協働など、変化を恐れず頭を柔らかくして、まさに豹変シアウフヘーベンしましょう！（ま） [ざま市民活動応援広場]